



新たな時代を、切り開く若者たち 令和2年、石岡市の新成人は771人

1

月12日、石岡市民会館で、令和になって最初の成人式が行われました。会場には、恩師や友人たちとの再会を喜ぶ姿があふれていました。

「変化の激しい時代だけど、未来は今の一步一步の積み重ねであることは確か」「おごらず、しかし責任感をもった大人になりたい」

式典の中で今年の新成人たちが語る言葉は、新たな時代を生きていく若者たちの不安、希望、そして覚悟を感じました。

大学で土木技術を専攻する実行委員の鈴木万生（まねお）さんは「昨年は台風15号、19号の被害を受けた年でした。これから私たちが生きていく時代は、ますます自然災害が発生するようになると思います。そんな時にこそ、地域のつながりが大切になってきます。お世話になった方々に感謝の気持ちを持ち、地域社会で役に立つ人間になりたいと思います」と話します。これから、よりよい地域コミュニティを、石岡市を、社会を共につくっていきましょう。

皆さんの新たな門出に幸あれ。

当日の式典の写真は、石岡市公式facebookページから見ることができます▼



石岡市 FB

今年度も、石岡地区と八郷地区の2つに分けて調査を行いました。ぜひ、お越してください。

「石岡市らしい景観」について学べます

▶平成27年度から筑波大学と共同で、石岡らしい景観を生かしたまちづくりを目指して、看板建築や里山景観などに関する調査研究を実施しています。

〔八郷地区・里山景観〕

日にち：2月2日(日) 午前10時～午後2時
(報告会：午前11時～・午後1時～の2回)

場所：朝日里山学校(柴内630)

※朝日里山そば祭りの会場で行います。駐車場は県フラワーパークから15分間隔で出ているシャトルバスをご利用ください。

研究担当：山本幸子准教授

〔石岡地区・歴史的景観〕

日にち：3月1日(日) 午前10時～午後3時
(報告会：午前11時～・午後1時～の2回)

場所：レンタルスタジオS(国府三丁目5-7、観光施設まち蔵藍付近)

研究担当：藤川昌樹教授・村上暁信教授

＼茅葺き民家を研究拠点に／

今年度、筑波大学では「茅葺民家を活用した地域再生拠点づくり」プロジェクトとして、八郷地区小屋の茅葺き民家の葺き替え作業を行いました。

市内の茅葺き民家は、トオシモノと呼ばれる軒先や、キリトビと呼ばれる屋根のグシの装飾が特徴的で「筑波流」と呼ばれています。

この茅葺民家は、筑波大学が地域再生の拠点として活用するため改修され、来年度以降、地方ならではの豊かな暮らしを実現する地域をつくるための研究拠点となる予定です。



筑波大学の研究拠点となる茅葺民家のキリトビに書かれた「水」の文字。手掛けたのは常陸風土記の丘で働く若手の茅手(茅葺職人)の江戸達郎さんです。

里山&歴史的景観の魅力×イベント アートサイト八郷 2020 冬



▶武蔵野美術大学の学生とそのOBOGを中心に、茅葺き民家の木崎家とその付近の棚田で行うアートイベントです。(2月28日・29日・3月1日は同会場で地域おこし協力隊の活動報告会を行っています。月曜定休)

期間：2月11日(日)～3月5日(日) 正午～午後4時

場所：上青柳78付近
(県フラワーパークから車で5分ほど)

岡アートサイト八郷実行委員会
yasatogym@gmail.com

第14回いしおか雑巡り

▶昭和レトロな商店を巡ろう。

期間：2月15日(土)～3月3日(日)

場所：石岡駅周辺中心市街地
岡石岡商工会議所 Tel 22-4181



中心市街地の看板建築

石岡市の景観を守る取り組み 「まちづくりファンド」

▶平成29年4月から、石岡らしい景観を守るために「石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業」を実施しています。

市民や企業からの寄附などを財源に、看板建築や茅葺き民家など、石岡ならではの建物を保全しようとするものです。

これまでに、フルーツライン沿いのいちご園の直売所の改修などに活用されました。制度について詳しくは二次元コードまたはホームページをご確認ください。

岡都市計画課 Tel 23-5523



▲まちづくりファンドを活用し改修したいちご園の直売所